



いたびつ **板櫃** <校訓>
真理の探究
自主躍進

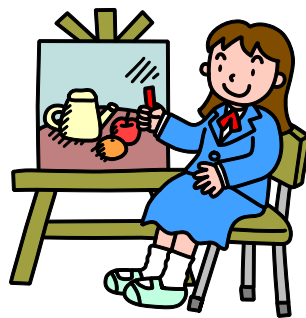
令和5年10月2日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)



一年の折り返し地点を迎えて・・・

10月を迎えました。中間考査ももうすぐですね。実りの秋、スポーツの秋、芸術の秋といわれる季節となりました。いろいろなことに積極的にトライしようと思えるときです。学校は、1年間の折り返し地点を迎えたこととなります。昨年まではコロナ禍の影響で、学校行事が縮小されたり、延期や中止となったりすることもありました。その中でも、板櫃中のみなさんは、日々の学校生活の中で、自分ができることを一に生懸命に取り組みながら成長してくれたと思っています。



今年は、1学期から修学旅行、クラスマッチ(1年)、2学期の体育大会、修学旅行、文化発表会、連合音楽会と以前の学校行事ができるようになりました。今月は体育大会です。以前の形に少しでも近づけたいと思い、体育科の先生を中心に計画しています。

いよいよ、本年度の学校生活も後半です。3年生は卒業の進路実現をするために大いに頑張ってくださいと思います。2年生は、生徒会選挙もあります。板櫃中の伝統を3年生から受け継ぎ、学校の中心として飛躍する時期にしてくれることを期待しています。1年生は、中学校生活にもかなり慣れ、少しずつ「他律から自律」、言われてからするのではなく、自分で考え自主的に取り組み、「いいこと」と「悪いこと」を判断できるようになってほしいと思います。

それぞれの学年にはそれぞれやるべきことがあり、3年間の中学校生活の中でそれぞれの学年での取組を積み重ねていくことが自分を成長させることにつながります。そのためにも、一人一人が「強い意志」をもって活躍してくれることを期待しています。

今回は1・2年生向けにエールを送ります。

2年生は、中学校生活が折り返し地点です。ここから先は、勉強でも生活面でも高校入試を(ある程度)意識しなければいけません。1年生も将来の希望や夢を少しずつ考えるときです。中間考査や期末考査は範囲が狭い試験ですが、高校入試の試験範囲は中学3年間(もちろん小学校の内容も含みます)の範囲です。中間考査や期末考査でも試験勉強が大変なわけですから、高校入試の勉強は直前でできるわけではありません。今の段階で何が重要かといえば、答えは1つです。「中学入学からここまで教わった内容の徹底復習」です。上級学年に進級する前に「(中学入学から)ここまでの内容は大丈夫」という状態にしておかなければいけません。日頃の過ごし方でどんな違いが出るか次の例で見てみましょう。

時期	板櫃太郎さん	板櫃花子さん
夏休み		
2年生後半戦		
3年生夏休み		

すべての人にあてはまるわけではありませんが、これに近い人は出てきます。板櫃太郎さんのように「中学2年生に入学からの復習をした」場合、中学校3年生の夏は「中学2年生の秋・冬から中学3年生の夏までの復習+中学1年生の復習のやり直し(一度やっている!)」で済みます。その上で苦手な教科や、入試の過去問対策などに挑戦することもできるでしょう。

一方で、花子さんは中学3年生の夏に「中学1年生から夏までの全範囲をやり直し」をする必要があります。難しいですね。(中途半端な復習になるか、途中までしか終わらないか)。そんな勉強の分かれ目が、中学2年生(中学1年生の後半)なのです。

少し勉強だけの話になりましたが、2年生の10月は「中学校生活の折り返し地点」でもあります。中学校生活の後半をどう過ごすか、卒業後の進路も視野に入れて、頑張ってみましょう。また、学校行事、部活動、生徒会活動はこれから1・2年生が中心となって活動します。さらなる成長を目指してほしいです。

板櫃中 3年生 受験スローガン

校長先生が贈る

むげん
夢現

～178名の若人よ、
今こそ無限の可能性を発揮するとき～

【受験はチームワーク】
修学旅行お疲れ様でした…。大きなトラブルもなく、本当によく頑張ったと思います。みんなの協力で本当に素晴らしい修学旅行となりました。いよいよ「進路」を目指すときです。目の前に控える進路決定に向けて、忙しく、先の見えにくい、不安に苦しむこともあるかと思いますが、修学旅行で培った3年生の「チームワーク」で乗り切ってください。みんなの結束力ならどんなに高く、厚い壁でも、きっと乗り越えていけると信じています…。声かけ合ってがんばっていきましょう！。友人、学級、学年全体で取り組むことによって、助ま合い、支え合う…その姿がお互いにとって大きな力となります！

毎日の一瞬一瞬を大切に！

勉強はいつまでやってもきりが無い、やればやるほど疑問がわき、やれていない、分からない部分が見えてくる。区切りをつけてくれるのは、外部の状況である。どこかで一区切りが必要となる。入試というのも一区切り。入試でどこまで到達したか知ることができる。今までの自分を振り返り、新しい境地へ飛躍できるチャンスだ。2023年も日本列島は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。昨年も、一昨年も受験生の中には影響を受け進路変更を余儀なくされ、また、涙を呑んだ人もいたのだ。試験を受けられるというのは幸せなこと。素直な気持ちで、気を引き締め、答案用紙に向かおう。自分らしく、あなたらしく・・・。